

1. 研究活動

『東洋的キリスト教神学の可能性—神秘家と日本のカトリック者の実存探究の試み』	2011. 9. 15	行路社	西洋神学に依拠するカトリックキリスト教が、東洋思想とりわけ禅仏教との出会いにより、イエスの教えの真髄にいかによりうるのかを、多くの聖職者、求道者の思想的営為から探った。
『ヘルマン・ヘッセ エッセイ全集 5』	2012. 1. 30	臨川書店	随想Ⅱとして1905～1924年の作品を翻訳したもの。共訳者は島途健一、田中裕、山本洋一。

## 2. 教育活動 (教育実践上の主な業績)

大学院授業担当 有 無

授業科目 外国語研究 (ドイツ語)		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
バツハが依拠したルターのドイツ語を精読するに際して、とりわけ新約聖書のギリシア語原典を参照にし、ルター独自の解釈についても言及した。	主としてレクラム文庫本を使用。	

## 3. 学会等および社会における主な活動

日本独文学会	活動中	会員
中世哲学会	活動中	会員
相即人間学会	活動中	会員
宗教交流学会	活動中	会員
禅とキリスト教懇談会	活動中	会員